

資生堂、「女性が活躍する会社 BEST100」において 3年連続で「総合ランキング 1位」を受賞

資生堂は、『日経 WOMAN』と日経ウーマノミクス・プロジェクトが主催する 2016 年度の「女性が活躍する会社 BEST100」において、2014 年度より 3 年連続で「総合ランキング 1 位」に選ばれました。あわせて、部門賞として「ダイバーシティ浸透度 1 位」を受賞しました。表彰式は、5 月 20 日(金)に行われます。

「女性が活躍する会社 BEST100」について

このランキングは、働く女性のキャリアとライフスタイルを応援する女性誌『日経WOMAN』(日経BP社発行)と日経ウーマノミクス・プロジェクトが「企業の女性活用度調査」を実施し、回答のあった企業534社を対象に評価を行なったものです。企業における女性社員活用の実態を「管理職登用度」「ワークライフバランス度」「女性活躍推進度」「ダイバーシティ浸透度」の4つの指標で採点し、それらを合計した総合得点を偏差値化して「女性が活躍する会社」総合ランキングと前述の4つの部門賞を設定しています。同調査は『日経WOMAN』が、1988年の創刊時から不定期で実施しているもので、今回で14回目を迎えます。

受賞理由について

資生堂は、1990 年以降、法律に先駆けた育児休業・育児時間制度等の社内制度の整備や、事業所内保育所の設置といった、仕事と育児・介護の両立支援制度を充実・進化させており、2004 年からは、経営戦略として女性活躍推進に取り組んできました。「子どもができたらずには退職する」という第 1 ステージ、「女性は育児をしながら仕事を継続できる」という第 2 ステージを経て、現在は、第 3 ステージである「男女ともに育児・介護をしながらキャリアアップ」できる会社をめざしています。この継続的な取り組みが男女共に活躍できる環境づくりに注力している先進的企業として評価され、今回「総合ランキング1位」と「ダイバーシティ浸透度 1 位」をダブル受賞しました。

資生堂は、中長期戦略「VISION 2020」の実現に向け、100年先も輝き続ける企業基盤の原型づくりに取り組んでいます。その目指す姿である「世界で勝てる日本発のグローバルビューティーカンパニー」の実現のため、ダイバーシティを重視した経営に注力しています。資生堂は、すべての社員にとって「働きやすく、かつ働きがいのある会社」へと今後さらに進化していきます。